

# ウエルズ WELLS

WELDING EQUIPMENT'S LEADING SPECIALIST

2017

15<sup>th</sup>

2017年11月発行

マツモト機械だより

## 新型『ターニングロール』発売!

製品情報

### デジタル周速計が標準仕様に!!

好評発売中の『ターニングロール』の1トンから40トンまでの標準品すべてにデジタル周速計を標準装備しました。これにより、ロール周速度が簡単に設定でき、望ましい溶接速度が容易に得られます。

■対象機種  
RS-1-INB、RD-3-INW  
RD-5-INW、RD-10-INW  
RD-20-INW、RD-40-INW  
計6機種



周速計



(※単位 mm/min)



従来の制御盤

新型制御盤

## 最新情報

■パイプえぐり加工機『Rカット』が好調です! 無段階変速機採用!



パイプえぐり加工機『Rカット』は無段階変速機を採用し、えぐりながら片手で変速できるため、カッターサイズに適した回転数が得られます。また、角度えぐりがスムーズに行なえ、丸穴、長穴加工も行なえます。(MSD-60タイプ)

【いろいろなえぐり加工ができます。】



『Rカット』  
MSD-60

■タングステン研磨機『タントギ』の販売台数が大幅UPしています!



タングステン研磨機『タントギ』の販売台数が例年に比べ大幅に伸びています。特に自動溶接やロボット溶接に使用するタングステン電極の研磨に適した『TA-60XW』タイプが好評で、高品質溶接に貢献しています。

TA-60XW タングステン研磨機『タントギ』

■溶接ヒューム回収装置『ヒュームゼロ』特別サービス企画実施中! 2018年2月28日まで!



ただいま、溶接ヒューム回収装置『ヒュームゼロ』のお得なオプション部品サービス企画を実施しています。期間は2018年2月28日まで。詳しくは弊社またはお近くのマツモト産業までお問合せください。

溶接ヒューム回収装置『ヒュームゼロ』



マツモト機械株式会社

<http://www.mac-wels.co.jp/>

背景イラスト©Jpquidores





©村上リアア/SSP-TV

## ■ 溶接ヒューム対策について

### 5、肺への粉じん阻止とじん肺の発症

呼吸を営む器官を一括して呼吸器系と呼んでいる。この呼吸器系は上気道、下気道、肺の3領域から区分されている。上気道は上から副鼻腔、鼻腔、咽頭を経て咽頭へと続き、それより下が下気道である。上気道は肺の中に入り込もうとするごみを取り取り空気を暖め加湿する大切な場所で、大きなごみは主に上気道に沈着し、せきや痰と共に口外に出される。

溶接環境は、溶接ヒュームのほかに様々な粉じんによって空気が汚染されている可能性がある。大きな粒子の粉じんは、鼻の粘膜や咽頭及び咽頭の粘膜に付着し、くしゃみや咳とともに外へ放出される。しかし、直径が1 μm程度の微粒子は肺泡にまで達するものがある。ヒュームの吸入によりじん肺の症状があらわれることが1936年に発表されて以来、粉じんの吸入によるじん肺と同様に関心がもたれてきた。溶接におけるじん肺は他の粉じん作業と異なりほとんどが酸化鉄じん肺であり、かつては『酸化鉄肺』と呼ばれていた。しかし、他の刺激性あるいは毒性金属の共存、有機溶剤、ガス、喫煙の影響も関与してくると、従来の酸化鉄肺の特徴的病理所見とは異なった形の組織変化が肺に見られる。また、ヒュームを分析することにより、ケイ酸の存在も確認されている。マウスを用いた吸入実験により、ケイ酸の存在は酸化鉄粉じんの体内からの排出を遅延させることがわかっている。



ヒュームゼロ FZ-2010

企画開発部 青野日出機

## ■ 溶接用治具機械基礎セミナー ⑤

### ⑦ トーチスタンド (写真9)

トーチスタンドは、溶接トーチを保持するものである。トーチスタンドの先端には、狙い位置微調整用のマウントやトーチをクランプするトーチホルダーが装備されている。作業者がトーチを持つと振れが生じて狙い位置がくるいやすい。しかし、トーチスタンドを用いると、安定して保持することができるため、振れがなく均一な溶接ビードが得られる。溶接品質の向上と量産化を図ることができる。



写真9：  
トーチスタンド『TS-900-S』



写真10：  
溶接連動制御システム『TCS-6000』



©村上リアア/SSP-TV

### ⑩ 溶接連動制御システム (写真10)

回転装置の回転開始/終了と溶接機のアークスタート/ストップを連動させる制御装置である。大きく分けて、タイマ式・リミットスイッチ式・カウンタ式の3種類がある。オーバーラップ量・クレータ処理の有/無・クレータ時間などを設定して使用する。ポジショナーと溶接チャック・トーチスタンド・溶接連動制御システムを組み合わせると、小径ワークの円周自動溶接装置となる。特殊装置を導入することと比較すると、短納期および低コストで導入できる。かつ、ロボットを導入するとティーチングが必要となるので、その点で比較すると簡単な操作で円周溶接を自動化させることができるようになる。

営業企画部 堀江健一

## 展示会情報



### ▼ 2017年 展示会予定 (11月~12月)

#### ・ 2017 神奈川ウエルディングフェスタ

日程：11月25日(土)~26日(日)  
※プレオープン：  
11月24日(金) 13:00~16:00  
会場：パシフィコ横浜Dホール

#### ・ 2017 栃木ウエルディングフェスタ

日程：12月2日(土)~3日(日)  
会場：マロニエプラザ

最新の  
展示会情報  
はこちら



展示会情報



お問い合わせフォームへ  
お問い合わせ  
マツモト機械の「レーザーラボ」では充実した設備で、YAGレーザーによる溶接・切断テストやサンプル作成を行っております。これからYAGレーザーによる装置化をご検討される方や、現在YAGレーザーシステムに関して問題点や、お困りになられていることがあれば、ぜひお問い合わせ下さい。



発行：「ウエルズ」編集室

本社・工場 〒581-0092 大阪府八尾市老原4丁目153  
TEL：(072) 949-4661 FAX：(072) 948-1528  
<http://www.mac-wels.co.jp/>



マツモト 機械HP